

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議に地域の人達がメンバーに加わった事で地域で必要としていた老人会で認知症予防教室やホームで認知症のよろず相談所を8/1開設できた。	○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行いケアの向上に努めている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議にて評価の内容を伝え率直な意見を得ている。評価で明らかになった課題については、取り組み内容を報告して、意見をいただきサービスの向上に生かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所だけでは解決できない問題が市町村担当者の協力を得る事で一緒になって課題が解決できている。特に地域包括支援センターとは関係作りが積極的に行われていて実態を共有している。ホームの行事に誘い参加してもらっている。	○	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会主催の研修に参加し学ぶ機会を得ている。対応が必要と思われる人の場合は 支援につなげていきたい。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議やミーティングに防止の徹底を図り、虐待が見過ごされる事のないよう努力していきたい。		

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は利用者との会話を多く持つ時間帯があるがボランティアの人を介しても意見、不満、苦情を表せるようにして毎日の生活を工夫していきたい。	○ 食堂の壁に利用者からの意見として書いた「私たちの願い」が掲示してある。『大きな声で話してください。私たちに出来ることをさせて下さい。私たちの意見を取り上げて下さい。皆と仲良くさせてください。……』など普段から会話を多くして 思いをくみ上げ運営に反映している。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	訪問時に日々の様子がわかるケース記録を読んでもらい「サイン」を頂いている。また『めだかだより』を毎月発行し 暮らしぶりがわかる写真を載せ 本人が家族に一言の欄にコメントを書き添えている。一緒に個人の出納簿も確認していただいている。	○ ケース記録は読んで確認と安心のコメントを記入して頂いている。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見等が気軽に交換出来るように、行事に誘い家族が安心していただけるように心掛けている。運営推進会議に参加いただく市町村職員や外部者からも意見を聞きそれを職員会議に回りサービスの向上に努めている。	○ 玄関に意見箱を置いている。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員との意見交換は毎日行なっていて 意見や提案を聞くようにしているが 不満はなかなか言いにくい事もあると思う。	○
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況の変化に対応出来るように職員に協力してもらっている。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	近年移動や離職がなく馴染みの関係でお世話させていただいている。	○ 馴染みの関係が特に成果を挙げれていると思う。

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の思いを聞き、必要な支援、サービス内容を相談して対応に努めた。場合によっては地域包括支援センターにつなげている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	初期の対応として、家族と本人が見学・遊びに来てもらい利用者や職員と顔馴染みになって、安心してもらえるように工夫してからサービスにむすびつけた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家族や本人から生活歴を聞き 本人が喜怒哀楽を共感できる場面作りをした。	○	本人の写真集や趣味の作品を預かり混乱時安心につなげている。又毎朝 新聞講読からその時の場面引き出し、得意としている事を(料理・歌・踊り)支援し、関係を築いている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ケース記録に日々、会話・行動等その日の様子を詳しく記入して訪問時 確認してもらいサインをいただいている。また本人を支えていく関係として年間行事に参加してもらっている。	○	毎年 湯村温泉・常磐ホテルに家族参加で実施している。毎年5月に1泊しているが 昨年は38人が参加した。家族も歌や踊りを披露していただき、大成功だった。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の状況を見極めながら、外出や外泊を勧めたり、家族の希望に答え、本人の自宅へ仲間と(15人)遊びに行き食事を楽しめた。	○	自宅へ宿泊出来る家族、温泉のホテルへ宿泊できた家族とそれぞれ家族と過ごせる時を楽しみにしている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族から知り得た生活歴から馴染みの人の訪問・場所が途切れないよう家族と共に支援している。	○	家族と外出の際、墓参りをしたり、馴染みの人・場所を訪問し写真に撮ってきてもらっている。また電話や手紙を利用して支えている家族や友人と連絡を取り訪問していただいている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士が互いに支えあい、暮らして行けるように支援している。	○	一人ひとりが得意としている事揮ができるように 皆で相談しながら支援している。毎朝掃除が終わると居間でお茶を飲みながら 新聞を読んでもらったり職員が読んだり変化にとんだ毎日の様子について意見交換をしている。

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスの利用が終了された利用者も家族に、遊びに来てもらえるような付き合いをしていきたい。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉や表情を注意深く観察し、日々かかわりを持つ中職員同志が変化や気づきを得るよう心掛けている。	意思の疎通が困難でも傍に寄り添い思いを聞く事で落ちついる。帰宅願望の訴えがある人は、場面に添って一緒に歩くようにしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族・友人が訪問時聴き取るようにしている。	センター方式のシートを使いその人を知る為の把握に努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活リズムを把握するための努力をしている。	その人らしく生活するために 出来る事・出来ない事シート わかる事・わからない事シート 生活リズムシートを使用している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族が訪問時、その時の問題点等を話し合い、カンファレンスで意見交換をし介護計画を作成している。	本人がその人らしい生活ができるように家族の意見を取り入れている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員は日々の記録から情報を把握し、家族の意見を取り入れながら見直しをしている。	体調の著しい変化や入院時、1ヶ月・3ヶ月の計画を立てている。

事業所名：グループホーム めだかの学校

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の様子がわかるように、その時の場面を本人の言葉でケース記録に記入している。家族が訪問時確認してもらい情報を共有し、意見も計画の実践に役立てている。	○	記録は昼、夜とボールペンの色を替え記入し、家族に記録にサインを頂く時は、赤のインクと決めて家族の思いを支援に結びつけている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人と家族の暮らしが継続出来るように支援しながら、変化や状況を見て 通所のサービスから入所への支援につなげている。本人の姉妹の入院時の見舞いや葬儀に同行し柔軟な支援をしている。	○	認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護のサービスを行っている。3人の定員確保している。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議に参加いただき意見交換をしている。ホームで暮らし続ける為の支援として民生委員やボランティアとの意見交換をしながら協力を得ている。	○	地域の文化祭や高齢者作品展に巻紙アート・習字・絵てがみの作品を展示させていただいた。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問美容サービスを利用している		1ヶ月半に1度利用している
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加いただき意見交換をしている。地域包括支援センターでの物忘れ相談と合わせて認知症よろず相談を開設した。(H20・8/1)	○	「よろず相談」のきっかけは 家族が認知症を介護していく時間問題を相談出来る場所があったらいいなと思ったからです。地域の人達が気軽にケアの方法を尋ねてくれることが自慢です。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の近くにかかりつけ医とする協力医がいる。基本は家族同伴が望ましいが無理な場合は職員が同行する。利用者・職員とも馴染みの関係が出来ていて、訪問診療に来てもらい、夜間緊急時も、適切な対応を指導いただいている。		

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者がかかりつけ医としている。家族同行受診だが、常に治療が受けやすいように支援している。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を確保して、健康管理や医療に関する相談をしながら対応をしている。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、家族の了解を得て情報を医療機関に提供し、頻繁に見舞うよう努めた。家族とも情報交換して、対応可能な段階でなるべく早く退院できるように支援した。		家族、医療機関、施設との連携により早期退院につながった。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方は、医療の力が必要とされるまでかかりつけ医の協力を得ながら健康管理や急変時に対応出来るように話し合っている。	○	状況の変化があるごとに、家族に伝えるように心掛けている。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人と家族の気持ちを大切に、安心して終末期が送れるようにかかりつけ医と相談している。体調の変化に備え、往診の対応もしてもらっている。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所に移る際は、関係者と話し合い、ホームでの支援状況を伝え、なるべく同じ支援がしてもらえるよう細かい連携に努めた。		

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○	手紙や写真の掲示は、プライバシーを配慮し家族の理解を得ている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○	いままでの生活の延長で食事作りで配膳・下膳・片付け 掃除も掃除機を使用したり、雑巾で床を拭いたりその場で、自分ができることを決めてもらっている。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○	個別に買い物や散歩は寄り添う支援を心掛けている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		外出時や行事の時は着飾り・化粧をする支援をしている。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	○	巻き寿司・煮豆・ほうとう・やきそば・すいとん等なるべく個々の得意としている料理を一品手伝ってもらうようにしている。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一日の流れに沿ったトイレ誘導を心掛けている。生活リズムシートを使いチェックしてトイレに誘導している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個別に合った入浴が理想だがホームとしては、日中の午前・午後と決めている。その時の状況によりシャワー浴の時もあり清潔保持に努めている。入浴を拒否する利用者には 言葉掛けの工夫や対応の工夫をしている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その時の状況に応じて休息を促している。日中はなるべく身体を動かして 就寝時にゆったりと眠れるようにしえんしている。	○	周辺を散歩したりラジオ体操をしている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	楽しみや役割を持ってもらうように、畑に野菜を作ったり、得意分野を知り 出来るだけ発揮できるための支援をしている。 干し柿を作り クリスマスに家族にプレゼントした。	○	草取り・料理・足湯 気晴らしの支援。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	毎週月曜日に移動パン屋さんが来るのでお財布を渡し好きな物を買ってもらっている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節や天気に応じて庭でバーベキューや食事をする。庭にある畑で野菜作りも楽しんでいる。買い物やドライブに出かけている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に聞き得た思いを家族に伝え 家族と温泉に宿泊し墓参した。ホームの仲間の葬儀に参列した。	○	毎年 5月に家族参加で湯村温泉・常磐ホテルに1泊して 家族同志も交流を深めている。

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	その時、その場面に電話や手紙で元気であることを伝え互いに確認出来るように支援している。	○	めだか便り・絵てがみに本人の思いを書いてもらっている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に訪問できるような雰囲気作りを心掛けている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出したい場面に気付いたら一緒に歩いたり、後ろから付いて行き先などを知る取り組みをしている。家族に理解を得てその場面に応じて取り組んでいる。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	全員の状況を把握するよう努めている。夜間は23時・3時に巡視し所在や様子を把握している。利用者が起きた時、音・声で側に駆けつけ安全に配慮しながら対応している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況に応じて厳重に管理すべき物、保管管理が必要な物、普段使う道具で注意が必要とされる物と分けて管理している。		薬・薬品・包丁は、施錠できる場所に保管している。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の状態から予測される危険を検討し、転倒や誤嚥等を回避する工夫をしている。		

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルがあり毎月訓練している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て毎月 自衛消防訓練を行い、通報・避難誘導を身体で覚えこむために繰り返し行っている。また運営推進会議に地域の消防団員に参加してもらい協力を得る働きかけをした。	○	
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	自由な暮らしが望まれるホームは外出する機会が多い。家族の訪問が多く、普段から予測できるリスクを家族を交えた中で相談し、取り組みを説明して理解を得ている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異変に気付くよう早期発見に努めている。ケース記録の他に申し送りノートへ記入し情報を共有し対応している。また主治医と連携をとり指示を仰ぐときもある。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人のケース記録に整理してある。看護職員が理解しており対応している。いつでも細かい記録をケース記録に記入している。		症状の変化に対してはかかりつけ医と相談しながら対応している。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	取り組んでいる。繊維質の多い食材を多く取り入れ、散歩や体操をして身体を動かす働きかけをしている。便秘の問題を抱えている利用者さんは生活リズムシートを使用して排便の有無を確認し 医師の協力を得ている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	職員の中に歯科医師がいて口の中をケアする必要性を理解している。食事後必ず口腔ケアをする習慣が出来ていて見守り支援している。	○	職員の中に歯科医師がいて指導を受けている。

事業所名：グループホーム めだかの学校

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立等を管理栄養士に相談して指導いただいている。個別の摂取量はケース記録に記録している。一日の水分摂取は個別の湯のみで決め1200ccを目安にしている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	独自のマニュアルを作り感染症の対応に実行している。衛生面ではタオルの共有をしないためにズボンにタオルを結びつけたり、トイレ 洗面台に個別に吊るし対応をしている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板やふきん等は、毎晩漂白し清潔を心掛けている。特に台所の水回りは、清潔保持に努めている。食材は、本部から届くが日付けをチェックして管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	気軽に尋ねてもらえるように庭にはベンチや季節には花を植え自由に出入りできる工夫をしている。玄関前はさざんかの生垣がある。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	民家を改造した作りであり、利用者にとっては自宅で過ごしていると思ってもらえている。食器も陶器を使用し、季節を感じられる工夫として花を飾ったり作品を展示している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごす場所とまでいかないが広い廊下にソファを置いている。		

事業所名：グループホーム めだかの学校

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に相談して本人馴染みの使い慣れた物や思い出深いものを置き飾っている。また入所時使い慣れた布団を預かり使用して混乱を避ける工夫をしている。本人が家族の顔を忘れないために写真を壁に掲示し、本人の毎月の顔も行事に取りカレンダーに取り入れ表情の変化を確認している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室に温度計を置き、室温・換気を気配っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者に合わせて手すりやトイレ等自立を意識した工夫をしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人を理解するために出来ること・わかる事シートを使い主に生活リハビリを中心に掃除・洗濯物干し たたみ・調理を一緒に行うことで混乱を防ぎ自立した生活を工夫している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	隣にスポーツ施設があり広い駐車場を散歩したり、庭にある畑では季節の野菜づくりをして収穫の喜びを得ている。季節に応じてバーベキューを楽しむ事が出来る。		

事業所名：グループホーム めだかの学校

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎年の湯村温泉常磐ホテル宿泊を家族と共に実現出来る事を楽しみにしている。